

## 臨床研究の情報公開（オプトアウト情報公開）について

### 臨床研修 2

研究課題名：「当院における子宮腫瘍手術症例における術前画像診断と術後病理診断の関連に関する研究」

研究の目的：子宮腫瘍には良性の子宮筋腫、子宮腺筋症、アデノマトイド腫瘍、悪性の子宮肉腫等がありますが、術前の画像検査所見でこれらを鑑別するには困難を要することしばしばあります。本研究は、当院にて子宮腫瘍の診断で手術を行った患者様の術前画像診断所見（特に MRI 検査所見）と手術所見、術後の病理診断の結果を集積し、そのデータを詳細に分析した結果を基に子宮腫瘍の鑑別診断、および、適切な治療の選択に寄与することを目的としています。

対象となる方：当院で子宮腫瘍の診断となり手術療法（他院で手術された方も含みます）を行い術後の病理検査で診断が確定した患者様を対象と致します。

研究の期間：2020 年 1 月から現在までに子宮腫瘍の診断手術で手術を行った患者様と致します（データの集積は現在も進行中です）。

研究の方法：上記期間内に当院で子宮腫瘍の診断となり手術をされた患者様（他院で手術された方も含みます）の術前画像診断（特に MRI 検査）と術後の病理検査結果との関連を調査するとともに、諸々の診療情報（年齢、既往歴、検査値、手術所見、等）を診療記録より抽出して集計致します。

個人情報の取り扱い：本研究で得られたデータ解析結果の公表（学術講演会での発表や医学雑誌への論文投稿）に際しましては、患者様を特定できないように氏名や住所等の個人情報を完全に伏せ状態で行います。

その他：本研究では、患者様への費用の負担や謝礼はありません。また、本研究にかかわる利益相反もありません。

実施責任者：福島赤十字病院 産婦人科部長 矢澤浩之